

【座談会】

「文化財建造物とまちの火災安全」

～清水寺とその周辺地域の経験から取り組みのツボを探る～

文化財建造物の火災安全の確保は、その保全・活用の前提となる最も重要な課題の一つです。このため、一般に個々の文化財建造物所有者の火災安全に対する関心は高く、消火・散水設備の設置や自主防災体制の整備は積極的に進められている場合が多いと言えます。しかし、文化財建造物の火災安全を所有者のみで確保することには限界もあり、周辺地域や行政組織などといった利害関係者との連携が不可欠です。本座談会では、清水寺とその周辺地域における先進的な事例を参考にしながら、利害関係者が一体となって防災活動に取り組むには何が必要なのかを議論します。

■ 日時

2013年3月5日(火) 11:00-17:00

■ 内容

- 防災設備見学会(11:00-12:00, 受付10:30より)
(座談会のための参加可)
- 座談会(13:00-17:00, 受付12:30より)
 - (1) 主旨説明(京都大学・樋本圭佑)
 - (2) 基調講演(立命館大学・土岐憲三)
「京都の文化遺産を火災から守る！
—その意義の認識と進展過程—」
 - (3) 各主体による取り組み事例の紹介
 - ・ 清水寺・森孝忍
 - ・ 清水寺門前会・田中博武
 - ・ 京都市消防局・梅垣浩久
 - ・ 京都府教育庁・鶴岡典慶
 - ・ 日本火災学会・出口嘉一(竹中工務店)
 - ・ 日本火災学会・田村佳英(関西木造住文化研究会)
 - (4) 全体討論
 - (5) まとめ(早稲田大学・長谷見雄二)

■ 会場

清水寺大講堂(円通殿)

清水寺境内入口を左に曲がり50mほど直進



■ 参加費 無料

■ 定員 100名(先着順)

■ 参加申し込み方法

3/1(金)までに、電話、FAX、もしくはメールにより下記までお申し込み下さい。

TEL 075-411-2730

FAX 075-411-2725

E-mail info@karth.sakura.ne.jp

(悠計画研究所内、関西木造住文化研究会)

■ 主催 公益社団法人日本火災学会

協力 関西木造住文化研究会

